

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 5月31日放送分 多角経営のポイントは…ひと！！～滋賀県・建設機械レンタル会社の試み～

## 5月31日放送分 多角経営のポイントは…ひと！！～滋賀県・建設機械レンタル会社の試み～

5月31日(TX・TVO・TSC)

6月1日(TVA・TVH・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

2日(BSJ)

滋賀県の建設機械リース・レンタル業を営む滋賀建機(株)(資本金7,500万円、従業員85名)は、循環完結型の『山岳トレ』を開発。これは、浄化技術との偶然の出会いを企業多角化の芽として見極めた賜物である。「技術が放置されているのを見るに見かねて」はじめた開発。同社の大企業にはできない特化市場への取組みを紹介する。

### 多角経営のポイントは…ひと！！

～滋賀県・建設機械レンタル会社の試み～

～

[視聴覚教材No. TV15-9](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



滋賀県にやってきた志垣さん。今日は、環境分野で注目を浴びている滋賀建機(株)を尋ねる。

こちらは滋賀建機(株)の五個荘営業所。当社は元々、建設機械のリース・レンタル業を行う会社。ということは、ここにある建設機器は貸し出している方が良いでしょう…





五個荘営業所長の蔭山さんが言うには、4月から秋までは閑散期にあたるという。そこで、当社は娯楽施設やビジネスホテルの経営等、色々な分野に進出することとなった。

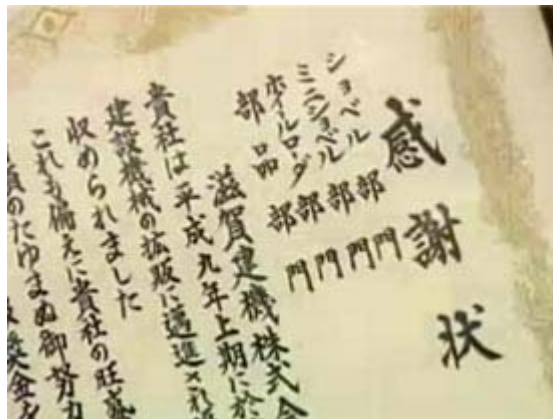
こちらが多角経営を進める蔭山社長。



一時期は感謝状を貰うほど建設機械の販売に力を入れていたが、世間のレンタル志向が強まるにつれて、リース・レンタル業にシフト。ところが、そのリース・レンタル業の環境が厳しくなったため、10年程前から多角化に乗り出したという。



その多角化の一つが環境分野。近年の登山ブームで山に登る人が増えているが、山小屋のトイレの整備が遅れているため、自然が汚染されるという問題が起きている。そこで、当社は山岳排水処理システムを研究・開発した。

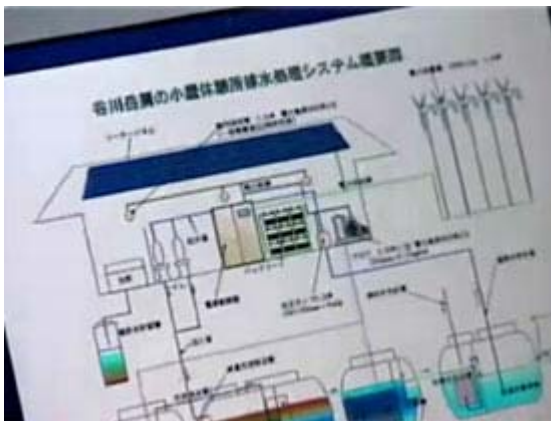




山田顧問(右)と埋橋取締役(左)。元々、山岳排水処理システムを開発したのは、埋橋取締役とその父親だったが、研究開発の途中で資金繰りに困っていた。当時、ベンチャーキャピタルに勤めていた山田顧問は、それを知り、蔭山社長に助力をお願いした。



そうして完成した山岳排水処理システムは、風力と太陽電池で動く特殊な浄化槽により水を繰り返し使え、



汚物の発生量も十分の一に減らすことが可能という優れた排水処理能力を持っている。



山田顧問との信頼関係があったため、埋橋取締役の研究に力を貸す気になったという蔭山社長。「自分の得意分野以外に手を出すなというが」という志垣さんの質問に、「専門分野はプロに任せて、計数(経営)は自分が見る」と答えた。

小さな頃から滋賀県で育ち、地域に役立ち

たいと語る蔭山社長の経営方針は、近江商人の「三方(自分、お客さん、仕入先)良し経営」に「地域の人にも良い」を加えたもの。

POINT: 三方良し + 地域の方々にも良い



多角化の一つである娯楽施設。経営者の代替わりによる経営不振が起きた時、蔭山社長に立て直し依頼が来た。蔭山社長は、娯楽施設のプロである市田店長を信頼して権限を委譲。この方針は、山岳排水処理システムを開発したときと同じ。

POINT: どんな業種でもプロさえいれば事業化はできる



弁当工場から出る排水処理に困っていた富久やの金森社長は蔭山社長に相談。山岳排水処理システムを応用した排水処理施設が設置されることで問題が解決した。



多角化を進める蔭山社長は、多くの人との関係を築いてきた。最後に新規事業に手を出すときのポイントを志垣さんに尋ねられて、「その事業をやるために、信頼し、任せる人がいるかいないかがポイント」と答えた。

POINT: 信頼できる人・任せる人がいるかいないか



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN